

平成18年度

学校教育調査B（学習）
報 告 書

岩手県立総合教育センター

はじめに

当総合教育センターでは、本県の学校教育に関する状況について、様々な立場の方々の意識や実態を定期的に把握することにより、県内の学校が抱える課題を知るうえでの基礎的な資料を得るために、また、今後の教育振興等に資するための基礎資料を得るために、基本的内容をA調査として3年ごとに、これを補完する具体的内容をB（学習）調査、C（生活）調査として実施しています。

本年度実施した学校教育調査Bは、平成17年度に実施した調査Aの内容を基に作成した質問項目で実施するもので、調査対象となる児童生徒の学習面・生活面全般にわたる実態調査及び意識調査です。

調査にあたり、県内10教育事務所管内の小学校17校及び中学校13校、県立高等学校10校合わせて40校にご協力をいただきました。また、調査対象として、児童生徒の他、その保護者及び調査協力校の学級担任・副担任のご協力をいただき、合わせて約5,000名の方から貴重な回答をいただくことができました。

本報告書の特徴は、今回実施した学校教育調査B（学習）の結果とともに、前回（平成15年度）実施した学校教育調査Bとの経年比較を行っていることです。児童生徒の実態や意識が3年前と比較してどのように変化し、現在に至っているかをグラフから読みとることができます。

本報告書は、調査対象ごとに結果をまとめた「調査結果の概要」、調査対象・質問項目ごとに結果をグラフにまとめた「分析編」、回答データをまとめた「集計編」、調査票を掲載した「資料編」で構成されています。

学校教育調査の報告書の内容は、これまで、県内の各教育関係機関や学校等の研修会等において活用いただいたり、報道機関等をとおして広く県民に発信しています。この調査結果が、本県における児童生徒の現状の一端を表していることを踏まえ、児童生徒の学習や生活を含む教育環境等の改善及び健やかな成長に今後も役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本調査にご協力いただきました児童生徒、保護者、学級担任の皆様、そして教育事務所、教育委員会、学校等の教育関係機関及び関係各位に、改めまして厚くお礼申し上げます。